

令和7年度西部保健医療圏（狭山保健所所管区域）難病対策地域協議会 概要

1 日 時 令和8年2月16日（月）午後6時30分～午後8時40分

2 会 場 埼玉県狭山保健所 大会議室

3 出席者

(委員) 沼山貴也会長、宮川隆平委員、小穴慎二委員、大野康委員、
今牧晋一委員、飯島若子委員、松原早知子委員、落合美穂委員、
鷲谷恵里委員、高安秀和委員、宮武寛委員、泉田みどり委員、
鈴木智子委員、木戸里江委員、平井世一委員、辻村信正委員
(委員16人出席)

(欠席者) 伊藤哲委員、松本めぐみ委員

(事務局) 狭山保健所

(傍聴者) なし

4 議 題

(1) 狭山保健所管内の取組み状況について

ア 狭山保健所管内の状況、取組み

イ 管内市の災害時支援状況、医療的ケア児者への取組み状況

ウ 狭山保健所事業の成果と課題

(2) 意見交換

5 協議概要

保健所・管内市委員から令和7年度の難病対策・医療的ケア児者へ支援の取組み状況、保健所の難病事業の成果と課題について報告し、その報告をもとに各委員より取組みに対する御意見をいただきつつ、管内の支援体制について協議をした。

保健所より、在宅療養中の人工呼吸器・在宅酸素使用する医療的ケア児者の災害への備えをみると外部バッテリーや発電機・蓄電池などの備えが進む一方、非常用電源や酸素の駆動時間・酸素確保時間を把握していない方が多いこと、保健所事業として患者家族・医療的ケア児・支援者支援、災害訓練を実施・継続していくこと等の報告があった。

市委員より、各市の災害時支援状況や医療的ケア児者への支援（協議の場、医療的ケア児等支援センターとの連携、避難訓練等の災害対策、地域の課題）について報告があった。

意見交換の場では、在宅難病患者の災害対策を推進するにあたり、主治医がいる医療機関が広範囲にまたがり医療機関間の連携や役割分担が不明確、市では多部署が関わっているため防災担当課と障害福祉担当課及び他部署が連携をとることや窓口の一本化が難しい等の課題が挙げられた。

各委員からは、それぞれの所属先で取組んでいる在宅患者支援・災害対策・今後取組んでいきたいことの報告と共に、医療的ケア児者のことを知ることや災害対策を推進できるのでは等の意見も出た。

在宅で急に人工呼吸器が停止した際の話も出て、どう対応すべきか・どう備えたらよいかについての意見交換もなされた。

協議会として来年度以降も活動を推進し、取組みを重ねていくことを確認した。

6 会議資料

次第・委員名簿・設置要綱

資料1 狭山保健所管内の状況

資料2 狭山保健所の取組み

資料3 【管内市】令和7年度 難病患者・医療的ケア児への災害時支援状況

資料4 【管内市】令和7年度 医療的ケア児者への支援・取組み状況

資料5 狭山保健所事業の成果と課題

参考資料 【狭山市】子育て交流会チラシ等